大学入試改革の行方

どう変わる　各大学の個別試験

大学入試センター試験に代わる新たな共通テスト「大学入学共通テスト」の実施まで2年。ただ、今回の入試改革は新テストの導入にとどまらず、大学の2次試験や選考方法の見直しにも射程が及ぶ。文科省からの委託を受けた各大学が3月に研究成果をまとめた。各大学の個別試験は今後、どのように変わるのか。

文科省で開催された成果報告会の様子。大学関係者が参加した＝3月18日

未出題分野の資質・能力問う

国語

国語科の試験問題の開発に臨んだのは北海道大学を中心とした研究グループ。まずは記述式問題を中心に、過去の試験問題を資質・能力の観点から分析した。

横軸に資質・能力を置いて「情報抽出」「内容解釈」などに分類、縦軸は設問形態にして「文章構造」「挿入語句」などに分類した。過去の試験問題をこの中に当てはめた。

結果、センター試験や個別試験では出題されてこなかった設問形式と資質・能力が明らかになったという。資質・能力では「仮説形成」「思考発展」、設問形式では「人物像と関係」「図表分析」などがほとんど出題されていなかった。そこで未出題の分野を含めて新傾向問題を開発した。

その一例が新聞に掲載された往復書簡を素材にした問題だ。「往復書簡で触れられた話題を発展させたレポートを書くことになった」として、（1）詳しく調べてみたいテーマを30字以内でまとめる（2）テーマを深く知るために読んでおきたい書籍名を、本文中から1冊挙げる（3）それを調べると、どのようなことが分かるか予想して120字以内でまとめる―とする内容を開発した。

問題では「言葉を通じて自分のものの見方や考え方を広げようとする」「読書を通して人生を豊かにしようとする」資質・能力を求めたという。

高校10校の生徒1409人にモニター調査も実施した。新共通テストのモデル問題や過去の試験問題と組み合わせて出題したところ、開発した新傾向問題の正答率が最も低い結果が出た。「小説」は17・8%、「評論」は25・7%だった。新奇性が高く、生徒が慣れていなかったことが背景にあるという。

新たな設問形態の開発にも取り組んだ。そのための素材として扱ったのは「会話文」「実用文」「統計資料」など、これまでの入試では、あまり使われてこなかった文章だった。例えば、大腸がん検診の受診を勧める2種類のはがきを示し、どちらを受け取った人が受診する確率が高いか、説明を求める問題だ。レイアウトや文章表現の違いを感じることで「言葉を通じて社会や文化を創造しようとする力の測定が可能だ」とした。

今後、実際に2次試験の内容を見直すためには、数多くの素材が必要になる。研究グループでは素材文と設問・解答のデータベースの開発を進めたいとしている。

「地理総合」「歴史総合」「公共」　新科目を反映

地歴・公民

地理歴史・公民科は早稲田大学が中心となって試験問題を開発した。

地理は、新学習指導要領で「地理総合」が必履修科目となり、地図や地理情報システム(GIS)を活用して現代世界を捉える学習内容が加わる。それを反映して、試行問題は（1）新旧地形図の読み取り（2）1人当たり国民総所得やジニ係数から見た世界の国々(3)世界の自然災害―に関する内容を出題。解答方法には記述式の他、マーク式で正しい選択肢を全て選ぶ問題を出した。

例えば、地図を見せた上で「街道沿いの歴史の古い集落をたどる観光ルートの整備」などの複数の観光モデルを示し、それぞれの候補地としてふさわしい場所を地図上から選ぶ問題。試行試験を受けた8校の高校生241人の平均点は55・5点だった。これまでの学習で解答できるかを聞くと、「ややそう思う」81人、「どちらともいえない」61人の順で多かった。

地理の問題を開発したグループでは、試行試験のような問題を実際の入試で出題できるかや、移民問題・人口問題などと関連させた合科問題の開発を今後の課題に挙げた。

暗記科目と見なされがちな歴史の試験を、いかに思考力を問う内容へと変えるか―。そんな課題の解決を目指した歴史の試験問題の開発グループは、初見の資料を読解しながら、既存の知識を使って考える小問を作成した。大規模私立大学を念頭に置いて、選択・穴埋め・30字の短文で答える問題と130字の論述問題で構成した。今後、必修になる「歴史総合」に対応するため、世界史・日本史の共通問題も加えた。

共通問題で出題したのは中国明代のアジア海域史。教師と生徒の対話文、当時のポルトガル人が記した文献の翻訳資料を基にした正誤選択や記述問題を出した。「日本列島を含めた東・東南アジアの歴史展開をグローバルな文脈で、地域間の横のつながりに基づき考察させる」ことや、資料から情報を総合して構成・表現する力を評価することをねらいにしたという。

試行試験の検証などを通じて、開発グループでは「選択式、穴埋め、短文記述式を主体にしても出題を工夫すれば思考力はある程度評価できる」として、「知識偏重型」から「思考力重視型」への入試改革や、日本史・世界史共通問題の作成は可能だと指摘した。

公民科で焦点となるのは新科目の「公共」。現在の「現代社会」か「政治・経済」「倫理」の選択必修に代わって、新学習指導要領で必修科目になる。早稲田大を中心とした研究グループでは、公共の試験問題の作成にも取り組んだ。

出題形式の基本方針に据えたのは①政治・経済・法・情報の4領域を横断する②表現力を問う要素を盛り込む③複数の種類の資料を活用する④文章、資料・図表を「読み込ませる」⑤時事的な問題・テーマを扱う―ことだった。

試行試験は四つの大問で構成した。第1問は「日本の人口問題」についての記事を読んで、移民の積極的受け入れ政策の是非を自由記述で書くといった問題。第4問では「日本の財政」をテーマに消費税には水平的な公平性がある一方で逆進性もある理由を説明させる記述問題などを出題した。

試験開発の成果について、開発グループは「従来の公民科以上に、図表・資料の読解力、それを前提とした思考力・判断力・表現力が要求される問題の作成に向けて、一定の手応えが得られた」などとした。また、現実の社会問題を扱うことで社会情勢や時事問題への興味・関心を喚起する「教育効果」も期待できるとまとめた。

「eポートフォリオ」活用　学習過程も評価

主体的な活動

受験生の主体性を評価する方法として、高校生に在学中の活動や学習成果を記入してもらう「eポートフォリオ」（JeP）の活用が既に始まっている。3月1日時点で3266校の生徒約16万5千人が参加。今年の入試では112大学が参考のために利用し、10大学は実際に選抜に使ったという。

開発を担当した関西学院大学などのグループが取り組んだ研究の一つが、JePの中で入力を求める探究活動における「主体的な学習活動」とは何かを明らかにすることだった。

研究では、まず高校と大学の教員、企業の人事担当者を対象に「主体的だと感じる行動」について自由記述の調査で意見を求め、そこから質問項目を作成、回答結果を基にJePに入力する項目を決めた。

例えば、高校教員の回答から「学外でのアンケート調査等を実施する」「学外の当該テーマについて詳しい人たちにヒアリングを依頼する」などの質問項目を作り、それに対して肯定的な回答が得られたことから、JePに「一次データ収集」（フィールド・スタディ、実験、調査）の項目を設けたという。

JePは、高校の探究的な学びを評価するツールとしても活用が目指されている。論文・発表、コンクールやコンテストの結果が評価対象とされる。また、成果だけでなく過程も評価するため、参考文献にどの程度当たったか、研究室訪問や専門家からの聞き取りでどのようなことを学んだか、などを入力する項目もある。

一方で、探究的な学びは研究環境が整っている都市部の生徒に有利に働く、という指摘もある。これに関して研究グループでは「フィールド・スタディや調査の中身から探究のレベルを測ることができる」と指摘。地方部は、都市部ではできない取り組みができ、「それぞれの地域に根差した社会に開かれた教育課程と多様性が評価される」と説明する。

JePの活用意義について研究グループでは、成果とともに学習の過程を評価できる点を挙げる。課題研究の成果でも従来は生徒本人がどこまで理解しているのかが見えなかったが、調査手法などを明らかにすることで「成果の事実が見える」と意義を強調した。

文科省が研究委託

各大学の2次試験の見直しに向けては、文科省が複数の大学に研究を委託し、試験問題の開発を進めてきた。入学者選抜の過程で、思考力や主体性に関する評価のウエートを現在よりも高めるねらいがある。

研究は人文社会（国語、地理歴史・公民）と理数、情報、主体性の分野ごとに代表大学を置くコンソーシアムをつくり、評価手法の開発に取り組んだ。

予告
第6回
本番間近！大学入試改革
夏の教育セミナー
主催：日本教育新聞社／株式会社 ナガセ（東進ハイスクール・東進衛星予備校）
この夏8月に、全国12都市で開催！
6年目となる本年はより実践型へ！
新入試1期生が高3になる前に
改めて「大学入試改革」について
理解を深めませんか？
約5,000名の先生方が
毎年参加している
夏恒例のセミナーです。
高等学校の先生対象
参加無料！
お近くの会場へ、ぜひご参加ください。
開催地・日程
8/1(木) 札幌【会場】ニューオータニイン札幌
8/2(金) 東京【会場】ベルサール新宿グランド
8/3(土) 大宮【会場】パレスホテル大宮
8/5(月) 福岡【会場】ヒルトン福岡シーホーク
8/6(火) 名古屋【会場】名古屋コンベンションホール
8/7(水) 横浜【会場】横浜ロイヤルパークホテル
8/8(木) 金沢【会場】ホテル日航金沢
8/9(金) 大阪【会場】スイスホテル南海大阪
8/10(土) 仙台【会場】TKPガーデンシティ仙台
8/19(月) 神戸【会場】ホテルオークラ神戸
8/20(火) 広島【会場】広島コンベンションホール
8/21(水) 千葉【会場】三井ガーデンホテル千葉
＊プログラム詳細は順次公開いたします。もうしばらくお待ちください。